



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	35,677.02	73.94	0.21	1.08	16.57	30,606.48
NASDAQ	15,090.20	-125.50	-0.82	1.29	17.08	12,888.28
日経225	28,804.85	96.27	0.34	-0.91	4.96	27,444.17
上海総合	3,582.60	-12.18	-0.34	0.29	3.15	3,473.07
滬深300 (GSI300)	4,959.73	31.71	0.64	0.56	-4.83	5,211.29
ハンセン	26,126.93	109.40	0.42	3.14	-4.05	27,231.13
中国企業	9,356.85	83.28	0.90	4.36	-12.87	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.1%高と4週続伸、上海総合指数は0.3%高

香港市場ではハンセン指数が週間で3.1%高と4週続伸した。中国の7-9月期 GDP の下振れを受けて中国政府による景気対策への期待が高まり、ハンセン指数は20日まで4営業日続伸と堅調に推移。20日には1カ月半ぶりに26000ポイント台に乗せた。21日は利益確定で反落したが、週末22日は中国恒大集団のデフォルト懸念が後退し、不動産株が買われて反発した。本土市場では上海総合指数が0.3%高と反発。中国政府による景気対策期待が相場を支えたものの、節目の3600ポイント付近では上値の重さが目立った。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、不動産業界への懸念くすぶる公算

香港市場は上値の重い展開か。NY市場でダウ平均が2カ月ぶりに終値で過去最高値を更新したことは追い風となりそうだが、中国で不動産税の試験導入が決まるなど悪材料も出ている。中国恒大集団の利払い問題に関しても29日に再び利払いの猶予期限を控えており、不動産管理子会社の売却が破談になるなか、デフォルトへの警戒感が再燃する可能性がある。本土市場も上値の重い展開か。足元で中国政府による景気対策への期待が高まっているが、節目の3600ポイント付近では利益確定売りに押される展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 阿里健康 (00241)	12.60	18.42
2 龍湖集団 (00960)	39.85	13.53
3 安踏体育用品 (02020)	134.20	10.54
4 吉利汽車 (00175)	26.70	9.43
5 李寧 (02331)	92.95	9.16
6 中国平安保険 (02318)	62.65	9.05
7 BYD (01211)	295.40	8.21
8 アリババ集団 (09988)	174.40	7.79
9 中国海外発展 (00688)	18.62	7.63
10 華潤置地 (01109)	33.75	6.80

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 ヘトロファイ (00857)	3.90	-3.23
2 恒安国際集団 (01044)	42.20	-2.43
3 シバック (00386)	3.87	-2.27
4 ハンセン銀行 (00011)	145.80	-1.69
5 海底撈国際 (06862)	29.20	-1.68
6 CNOOC (00883)	8.55	-1.50
7 バドワイザーAPAC (01876)	19.30	-0.92
8 中国建設銀行 (00939)	5.43	-0.73
9 九龍倉置業地産 (01997)	42.40	-0.70
10 中銀香港 (02388)	24.95	-0.60

▼今週の主なイベント

- 10月27日(水) 【中国】工業企業利益(9月)
- 10月28日(木) 【米国】GDP速報値(7-9月)
- 10月31日(日) 【中国】製造業PMI(10月)

▼今週の期待材料

- ◆NY市場でダウ平均が2カ月ぶりに終値で過去最高値を更新、NY市場の好調が香港市場にとっても追い風に
- ◆中国副首相が恒大問題で「個別企業の問題であり、全体ではリスク管理が可能」と事態の沈静化に自信を示す
- ◆A株企業の592社が25日までに1-9月期決算を発表、全体の純利益は比較可能な590社で29%増益

▼今週の懸念材料

- ◆中国政府が土地使用権と建物を対象に不動産税の試験導入を決定、不動産業界にとって逆風
- ◆中国恒大集団の利払い問題で29日に4750万米ドルの猶予期限が到来、30日には別の1425万米ドルも期限に
- ◆中国の7-9月のGDP成長率が4.9%に減速、電力不足などで10-12月期はさらなる減速の可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 9月の5G加入純増数が前月比6%増加
- ☆ 新天綠色能源 (00956) : 7-9月の発電量が17%増加、ガス販売量は13%増
- ☆ 中国神華能源 (01088) : 1-9月期決算は石炭価格上昇や電力需要増加で27%増益
- ☆ 中国アルミ (02600) : 26日に7-9月期決算を発表、市場予想は純利益5.1倍
- ☆ 招商銀行 (03968) : 7-9月期決算は21%増益、市場予想上回る
- ☆ 中国能源建設 (03996) : 1-9月の新規受注が45%増加、通期目標の92%を達成
- ★ カフェ・ド・コラル (00341) : 9月中間決算は補助金の反動で51%減益の見通し
- ★ 香港証券取引所 (00388) : 27日に7-9月期決算を発表、市場予想は5%減益
- ★ 中国再保険 (01508) : 損保子会社の1-9月の保険料収入が13%減少
- ★ 中国恒大集団 (03333) : 29日と30日に相次いで米ドル建て債の利払い期限

レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。